

### 3 中学校統合に向けた保護者説明会（中区）

- 日 時 令和4年7月29日（金）午後7時30分～午後9時00分
- 会 場 ベルディーホール会議室
- 参加者 28名（中区25人、加美区2人、八千代区1人）

#### 【事務局】

- ・教育長 越川 昌信
- ・教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
- ・学校教育課長 吉田 勇二
- ・学校教育課副課長 吉川 成悟
- ・教育総務課副課長 山本 聡
- ・教育総務課主査 畑中 美穂

- 司会 藤本理事
- あいさつ 越川教育長（6分）
- 出席者紹介（2分）
- 説明 教育総務課 山本（39分）  
学校教育課 吉川（13分）
- 質疑応答

■今日の説明を聞いていたらほとんど決まっているように思えたが。質問ではなく意見。今から統合された中学校に入学する子どもたちにも考える場を与えていただきたかった。子どもたちのためのプロジェクトと言われていたが子どもたちが考える場がなかったら、自分たちが考えた中学校とならず、記憶に残らず、多可町に残りたいと思う気持ちも薄れるのではないか。ふるさとを学ぶことのひとつとして、自分の学校を考えることもその一つだと思う。小学生にそのこと考えることは少し難しいかもしれないが、高学年になったら、もう少しわかりやすい説明だったら考えられることもあると思う。各学校単位で意見を出し合って、「自分たちはこう思う」ということをきちんと形にしたり、意見を出し合うことが大切だと思いますし、今の中学生であっても自分たちに関係ないと思うのではなくて、後輩にこうなってほしいと思うように中学生も考えてほしい。

統合の計画で、新たに中学校を建設すると聞いたが、金額面の説明がないので、多可町に残る子どもたちにとって、借金を背負わずのほうなのかなと思う。そういうこともきちんと私たちや子どもたちに説明してほしい。

→3中学校の生徒が集まって、未来の中学校を考えるワークショップを行う

た。中学生が後輩のために、これからの中学校について考える機会となった。中学生の意見からは、切磋琢磨する環境やクラス替えができたなら良いとか、多くの友だちの中で成長していきたいなど意見がでた。広報にも掲載したが、生徒数も先生の数も少なくなっているから統合したらどうかとの意見もあった。部活動の選択肢が少ないという意見もあり、合同チームを編成せざるを得ない状況の中で、統合について前向きな意見もあった。小学生については、統合について考える機会がまだ持っていない状況。小学校5年生が開校時の統合中学校3年生となるので、どんな学校にしていきたいかなど話し合う機会を検討していく。

財政的なことについては、地域の学校教育のあり方を考える会や住民説明会でも説明を求められた。建設費についてはこれからだが、近隣の建設費をみると、丹波市山南中学校は26億円、東条学園小中学校は37億円、社小中一貫校は規模が大きく60億円と聞いている。多可町の新庁舎は27億円となっている。学校を建設する場合は、仮に建設費が30億円であれば、そのうち1/3程度10億が補助金を活用。残りの20億円に対して95%の19億円が合併特例債の対象で、そのうち70%の13.3億円が国から交付税として戻ってくる。30億円の建物を建てる場合、補助金や合併特例債を活用すると、町の負担は実質6.7億円の予算で建設可能。中町中学校はかなり古い建物で、加美中学校も八千代中学校もいずれ建て替えが生じる。この3中学校を将来にわたって維持するコストと統合して1校にする場合のコストも比較をしている。子どもたちの望ましい教育環境が一番だと考えているが、3中学校を維持するコストと統合して1中学校にするコスト、ランニングコストを比較しても、将来に掛かるコストは少なくなると試算している。

→3つの中学校をそのまま維持したら40年間で83億円、1校に統合したら55億から72億円。11億円から28億円の削減と試算。(令和4年1月号掲載) これまでの協議経過については、広報やホームページに掲載している。

#### ■9月の開校準備委員会後のソフト、ハード両面のスケジュールは。

→ソフト面では開校準備委員会を立ち上げた後、例えば制服は、現在の小学校5年生が中学校1年生になる際に、新しい制服にしてはどうかを考えているので、なるべく早めに協議を開始し、子どもたちの意見を十分に反映させたい。校則の統一、校歌や校章などを決めていく。中区の通学路は大きく変わらないが、加美区や八千代区は大きく変わるので、こちらなるべく早め

に協議を開始し、子どもたちが安全に通えるように道路の工事を進めたり、路線バスのダイヤを見直したり、増便バスなどを検討していきたい。

ハード面では、令和5年度から基本設計、実施設計を行う。建設工事は令和6年度から工事を始め、令和7年中に工事を終えて、4月開校に向けて引越などを行う予定。

■ 検討事項が多岐にわたり、多忙となる開校準備委員会委員の意見を学校的设计や通学など、教育委員会がうまく繋ぎながら計画に反映させてほしい。

→ 施設整備部会など部会を設置し、小・中学校のPTA代表などからなる委員の意見を可能な限り反映させたいと考えている。

現在、教員から学校現場における課題や要望などを聞いている状況。

■ 合併特例債の期限は。

→ 令和7年度末が活用期限。さらに有利な起債、過疎対策債が活用できる。学校などの建設に優先的に活用できるため、まず過疎対策債を活用し、残りを合併特例債とするなど健全な財政運営を行っていく。

■ 合併特例債や過疎対策債は修復には使えないのか。

→ 将来にわたって活用する施設であれば修繕にも活用できる。

■ 小学校の建設場所はまちづくりプラザの場所ですか。

→ 小学校は当面現状維持だが、10年後、20年後に小学校が統合する場合は、中学校に隣接し建設ができるように計画している。

#### 【自由意見】

- ・ 準備委員会でしっかり意見を吸い上げてください。中南小2小5中町中2
- ・ 文化部をもっと増やしてほしい。中南小3小5

### 3 中学校統合に向けた保護者説明会（加美区）

- 日 時 令和4年7月27日（水）午後7時30分～午後9時00分
- 会 場 加美プラザ
- 参加者 21名（中区1人、加美区20人、八千代区0人）

#### 【事務局】

- ・教育長 越川 昌信
- ・教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
- ・学校教育課長 吉田 勇二
- ・学校教育課副課長 吉川 成悟
- ・教育総務課副課長 山本 聡
- ・教育総務課学校園アドバイザー高見 英明

- 司会 藤本理事
- あいさつ 越川教育長（6分）
- 出席者紹介（2分）
- 説明 教育総務課 山本（39分）  
学校教育課 吉川（13分）
- 質疑応答

#### 【通学】

■加美区は全員バス通学か。加美区143人だが全員だとイメージできない。想定は。

→一番の関心事。開校準備委員会で具体的に保護者と決めていく。現状は6キロを超えたら遠距離通学としている。8キロを超えるとバス通学としている。統合した時に、どこで線を引くのか、地域や保護者の意見を聞きながら決めてく。バス通学143人はかなり多い。大型バスの増便、奥から発車、途中から発車をイメージ。地域公共交通の見直しも進めている。住民のみさんの公共交通を確保しながら決めていく。どの地域をバス通学にするかの集落名は挙げられないが、例えば、加美区西脇など自転車で行くのか、バスで行くのかは保護者の意見を聞きながら決めていきたい。自転車で行く場合は安全に通学ができるように工事も含めて見直していく。杉原谷小学校に通われている方はバス通学になると思っていただいたら良い。松井小学校に通われている一部の地域で自転車通学も想定しながら、今後その範囲を決めていく。現状は6キロを超えると遠距離通学となるが、8キロまではバス通学はせずに自転車通学補助を支給して、自転車通学をしている。

中町中学校から単純に6キロ円を描くと熊野部、寺内あたりが範囲に入ってくる。円の内側の集落は自転車通学の範囲。しかし実際の距離で判断するので、実際にどこが自転車通学となるのかは今後の協議となる。中区に決定した理由もバス通学者（時間的制約を受ける生徒）がより少なくすることが理由となっている。開校準備委員会通学部会で決めていきたい。

■ 門前、安楽田の生徒が通われているので、西脇や山野部も距離からすれば自転車通学が可能となると思うが、門前、安楽田あたりの朝の通学・通勤時は交通量が多く安全とは言えない。新1年生であれば自転車の乗り換え、成長段階も異なるため運転もままならない生徒もいる。1年生の間はバス通学で、3年生の時は部活動などで時間的な制約を受けない自転車通学に変えるなど柔軟に対応してほしい。

→段階的な通学方法なども含めて、開校準備委員会で議論していく。

#### 【跡地活用】

■ 跡地活用については明日からでも協議を初めてほしい。近隣でも統合により廃校になる学校が増えてくる。加美中を加美区の統合小学校として将来使うために残しておくなら構わないが、民間とかに使ってもらうのであれば、早く手を挙げないと他の廃校となる学校に持って行かれる。使わないと朽ちていく。良い建物なので、みすばらしくならない間に跡地利用を進めてほしい。

→まずは行政として使うかどうかを判断。使わないのであれば地域の方と一緒に跡地利用については進めていきたい。

#### 【部活動】

■ 部活動のこと。円滑な移行、統合する前から違う形になるのか。

→土曜・休日の部活動を地域移行することの方針。平日は当面これまでどおりの認識。しかし、協議の中で、地域が受入可能となる部活動があった場合は、先行して進めていくことはあると考えている。

■ 部活動のこと。教員のポリシーで指導方法も変わってくる。今年度は熱心に指導をしてもらっている。地域移行に賛成。地域の人材、指導者があるうちに地域移行を進めてほしい。土日の部活動は、特に小さな子どもを持つ先生にとっては負担。子どもを連れて指導していただいているケースもあり、生徒も保護者も理解している。土日だけでも部活動の地域移行を進めていただきたい。

### 【教員】

■先生のこと。統合すると全体としては先生が減るので、知っている先生が減ることが心配。異動がなくなるので教員の質が心配。

→統合した中学校の教員の数は多いが、全体として教員の数は減る。教員は様々な地域から来ているため地元へ戻るケース、定年退職するケースが想定できる。近隣市町も統合の議論が進んでいるため、相談しながらお互いのために交流人事を行っていく。現役の教員の配置場所がないということにはならないように計画的に進めていく。

### 【周知】

■説明会に興味を持たれない保護者、ネット配信にも興味を示されない保護者もいるので、PTAも協力するので、漏れの無いような周知方法を再度検討してほしい。

→住民の方への周知の仕方は難しいと思っている。YouTube や SNS、学校便りにスペースを作るなど、協議状況の周知は進めていく。

### 【自由意見】

- ・統合後のクラスづくりの際に、加美区の子が少数になったりしないクラスづくりをしてほしい。(加美中3)
- ・とてもわかりやすい説明でよかったです。また、役員で集まった時など周知できたらと思います。大変ですがよろしくお願いします。(松井小5小6)
- ・概ね気になっていたことは、対策を検討いただけるようで安心いたしました。具体的な作業においては、柔軟な発想・対応を期待しています。(小3小5)
- ・地域が急速にすたれていくことが懸念されます。よろしくお願いします。(松井小5)
- ・プレ開校式を多くしてほしい。(小4加美中3)
- ・子どもたちが安心して通学できるようにしっかり考えてほしい。子どもに寄り添って、きめ細やかな対応をしてほしい。教師の質や指導力を確保してほしい。(松井小1加美中1中3)
- ・移行時の混乱ができるだけ無いようにお願いします。(松井小5加美中3)
- ・中3になる年に統合なのでクラス替えがどのようにされるのか不安があります。受験の大事な年なので慎重に考えてほしいです。(松井小5)
- ・加美中学校の跡地利用、校舎の利用について検討いただきたい。教員向け、地域、保護者向けの説明会はありますが、生徒への説明会はどうなりますか。(松井小6)

### 3 中学校統合に向けた保護者説明会（八千代区）

■日 時 令和4年7月28日（木）午後7時30分～午後9時00分

■会 場 八千代プラザ

■参加者 23名（中区6人、加美区0人、八千代区17人）

#### 【事務局】

- ・教育長 越川 昌信
- ・教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
- ・学校教育課長 吉田 勇二
- ・学校教育課副課長 吉川 成悟
- ・教育総務課副課長 山本 聡
- ・教育総務課学校園アドバイザー高見 英明

○司会 藤本理事

○あいさつ 越川教育長（6分）

○出席者紹介（2分）

○説明 教育総務課 山本（39分）

学校教育課 吉川（13分）

○質疑応答

#### 【スケジュール】

■基本計画は議会の承認案件か

→議会の承認案件ではない。

#### 【教員の負担増】

■先生は本当に負担が大きいのか。小学校3年生では1クラスに大人が4～5人いて、とても手厚いように感じる。いろいろな子どもがいて昔とは単純に比較できないが、大人たちがそんなにたくさん必要なのか、本当に多忙なのか、現場の先生の意見を教えてほしい。

→中学校は部活動が維持されながら教員が減っていること、学校の校務分掌を少ない教員で分担していること、教育改革で道徳が教科となり、小学校でも英語、プログラミングなど新しく教えることが増えていること、昔はクラスからはみ出さないような教育だったが、今は子どもたち一人ひとりの資質に合わせた、その子が伸びるような、個人個人に合わせた教育を行っていることなどがある。弁護士などからなる第三者機関が実施する教員へのヒアリングによると、事務や現場対応することが多く、事務仕事が勤務時間内に終わらず、どうしても勤務時間が長くなることがある。そうすると子どもとの対話が減る日が出てきて、クラスでトラブルが起こったりするなど、対応す

る中での苦勞が多くなっている。子どもと向き合う時間の確保については、最も大切なことと考えているため、第三者機関と一緒に考えていきたい。

部活動については、昔と同じように大会もあり、昔と同じように教員は対応している。しかし、今若い教員も増えている。家庭があって、小さい子どもがいるという状況で、休日が部活動だと、家庭に帰っても疲れてしまうなどいろいろな事情がある。しっかり話を聞いて部活動のあり方についても検討していきたい。

#### 【子どもと向き合う時間の確保】

■私は統合大賛成。ぜひこのまま令和8年度にスムーズに開校することを期待している。教員の負担増の点が気になったのは、子どもたちのことを一番に考えれば、当然先生方が子どもたちを向き合える時間を求めていくことも大事なのですが、何せ子どもたちのことを一番に考えていただいて、今後新しい学校がスタートできることを心待ちに楽しみにしている。

→教員の負担軽減は、子どもたちにとって望ましい教育環境を確保するため、教員が心に少し余裕を持って子どもと向き合う、子どもの話を聞けるように取り組んでいる。ありがとうございます。

#### 【部活動について】

■部活動は統合まで今のままで維持されるのか。

→地域移行は休日の場合。基本的に平日は現状と同じ。しかし、これから協議を開始する。モデル的に地域移行を先行する部活動も出てくる可能性もある。

#### 【コミュニティ・スクール】

■コミュニティ・スクールはどんなものか。ボランティアの募集があったがそれとの関連は。多可町内で実施しているのか。

→コミュニティ・スクールはボランティアをすることが目的ではなく、学校が育てていきたい子供像と地域が育てていきたい子供像を共有して、同じ方向を向いて一緒に考えていきませんかといった集まりで、学校の困っていることや助けてほしいことが出てきた場合に、人と人との繋がりの中で、人材を紹介してもらい、助け合うことにより問題を解決していく。学校の評価もコミュニティ・スクールの委員が評価したり、足りない部分をアドバイスしたりして、一緒に学校を良くしていく仕組みのこと。そして、今年度から全ての小学校にコミュニティ・スクールを導入している。八千代小学校は平成3



0年度から導入している。

■八千代小学校ではどのようなことをされているのか

→ミシンを地域の方に教えていただいたり、夏休みの補習に携わっていただいたりしている。

【通学】

■通学について、八千代区は自転車通学もいるのか。

→片道6キロ以内が自転車通学の範囲、安全に通学できるかという視点、坂道など特殊な条件への配慮、この3つ観点で協議を行う。さらに今年度町全体の地域公共交通の見直しを行う。開校準備委員会でなるべく早い段階で協議を開始し、バス停や通学路の整備を行う。

■八千代区は峠も狭く、大型トラックの通行も多いので危険と感じる。

→まずは安全に通学できるように検討していく。

【学校建設】

■統合中学校を中央公園に建設する計画とのことだが、少子化が進み小学校が統合となった場合の想定はしているのか。

→将来の小学校の統合も想定し、中学校の隣に建設できるような、小中一貫校も建設可能な計画を行っている。

■木材などの地域資源を活かして建設してほしい。町への誇りを育むことができる良い機会。持続可能なまちをつくるためにも、地元の資源を使って、地元の技を生かして新しい建物を建てていくことが教育につながると思う。ぜひ木材で、高層化できる技術もあるので地域性を生かした校舎建設も選択肢として検討をお願いしたい。

→木のぬくもりが感じられる教室での授業も大切。庁舎の議場のように木質化するなど新しい統合中学校にも取り入れていきたい。

【心のケア体制】

■心のケア体制づくりに重ねてのお願い。5つの小学校が一つのまとまるということは、子どもにとってはとてもドキドキすることだと思うので、きめ細やかな配慮をしてもらいたいと思っている。保護者からも「もし困ったことがあったらすぐに親や先生に相談するように」と声かけも必要だと思うので、学校と保護者と一緒になって、取り組めたらいいなと思っている。

→心のケア体制については、多可町では一番に取り組んでいきたいと考えている。

【自由意見】      なし